

約2時間にわたる会を終了しました。  
(岸上恵一記)



## 函館

Hakodate

### 函館第3回レクリエーション大会

2月16日 会員及び家族・スタッフを対象に「ホテル法華クラブ」において標記大会が行われました。

函館雀王決定戦として開催された麻雀大会が午後2時より始まり、12人の腕に覚えのある先生方が雀王を目指し、また、午後3時から開催されたボウリング大会では参加者3名がベストスコアを目指して緊張感漂う白熱した対戦を繰り広げました。

午後6時からの懇親会には76名が出席し、麻雀・ボウリング大会表彰式、ゲストによるイベント、ピンゴ大会が行われました。



ゲストによるイベントでは催眠術師の川上たけし氏による催眠術ショーが行われ、事前のオーディションにより選ばれた参加者が、催眠術でバタバタと倒れたり、ワサビが甘く感じるなど、場内は驚き・疑い・笑いが入り混じり、たいへん盛り上がりました。

終始賑やかな雰囲気で行われた大会は盛会のうち無事終了しました。(鍋谷大史記)

### 第14回函館臨床研究発表会

2月24日 午後1時30分より函館会館において、今年で14回目を迎える標記発表会が開催されました。

当日は日常臨床における症例や研究内容など6つの題目について発表があり、参加者はメモを取るなど熱心に発表を聞いていました。

また、参加者からは活発な意見や質問が出されるなど、大変有意義な発表会となりました。

(鍋谷大史記)



## 岩見沢

Iwamizawa

『自院での患者に対してのプレゼンテーションにデジタル機器を使って』

3月1日 午後3時から5時まで岩見沢市「コミュニティプラザ」において、美歯会の吉村治範先生を講師にお招きして標記学術講演会が開催されました。

先生が本格的にデジタル機器を用いてインフォームドコンセプトを行うようになったのは、先の保険改正における文章提供が実施されるようになってからだそうです。



吉村治範先生

導入に際して、情報の管理面および分析結果を分かりやすく伝えるという考えから『規格化された記録』を採ることに注意を払われたとのこと。これにより術者側からの一方的な情報提供ではなく、患者さんと情報を共有することが可能になったとのことでした。

「患者さんは“不安と期待”を持って来院する訳ですから、相手のペースで話を聞くなどのきめこまやかな問診を行い、患者さんの不安を知り、一方“期待”に応えるべく情報の分析結果や予後などを分かりやすく伝える。これらを実践することにより患者さんとの間で『ゆるぎない信頼関係』が生まれる」と結ばれ講演終了となりました。(木村 悟記)

## 美唄

Bibai

デンタルタウンミ - ティング 2008  
in 美唄歯科医師会

2月27日 「ホテルスエヒロ」にて午後7時よ

り上記会合が開催されました。

富野道歯会長・阿野専務理事・長江常務理事が平日にもかかわらず、来美され道歯執行部運営状況について詳しく説明されました。

富野会長からは、平成20年度の主な事業内容予定の詳細についてと、歯科国保・道歯連盟の話がありました。

阿野専務からレセプトオンライン化への対応、北海道における8020運動と医療費の問題調査について、さらにはこの4月からの診療報酬改正内容について等のお話がありました。

長江常務から会計状況全般を会館問題と絡めながら説明され、かつ又公益法人改革についての話がありました。

美歯会員からの要望として

1. 研修制度をより実習に力点を置き、道歯を仲立ちとし各歯科大学医局、民間病院と提携しベッドサイドでの実地研修をおこなえると理想的
2. 道歯会館内の無線LANの整備
3. 道歯会館を会員がよりスムーズに活用できる工夫の余地
4. すべからくネット活用し省力化を図ることなどがありました。

普段各種情報を十分伝達しているつもりでも、または、道歯会通信で活字にて説明していても、やはり、直接肉声を通しての力のこもった言葉には説得力がある。各郡市区歯会を回ることなどその熱意たるやまさしく前代見聞のことである。

大したおもてなしもできず水代わりのジョッキで疲れたのどをいやしながら会を終えた。

(小森英世記)



## 医政税務講習会開催

2月8日 午後7時から「苫小牧市民会館」において標記講習会が開催されました。講師に(株)

PMC会長中野善夫氏をお迎えして「医院経営の改善と強化 診療効果の向上と自費率向上対策」と題し講演していただきました。

ますます厳しくなる経営環境のなかで、歯科医院の収益向上のために多くの患者さんに選ばれ、喜ばれる歯科医院になるための実践ノウハウや効果的な対策事例を紹介していただきました。

(吉住彰郎記)



中野善夫氏

## 第7回 苫歯会員発表会開催

2月16日 午後2時15分から「グランドホテルニュー王子」において標記発表会が行われました。今年度の発表会は2部構成となり、第1部で会員等による発表、第2部で教育講演を行いました。

第1部では会員と衛生士会苫小牧支部などから5演題が発表されました。演題名と演者は以下の通りです。

- ・「局所的な骨吸収を伴った慢性成人性歯周炎」(八谷征一先生)
- ・「青葉病院歯科口腔外科における紹介患者について」(道谷弘之先生・山田哲也先生)
- ・「歯科衛生士会苫小牧支部としての 年間の活動報告」(山根絹子さん他)
- ・「障害者通所施設とのかかわりと今後」(佐藤雅代さん他)
- ・「他院治療インプラントのリカバリーとメンテナンス」(加藤政伸先生)

第2部では、教育講演として小樽市でご開業の熊澤歯科クリニック上浦庸司院長をお迎えして「臨床調査から考えるキシリトールの効果的な活用法～キシリトール5-5-5の法則～」と題しご講演いただきました。幼稚園における3年間のフィールドワークならびに院内スタッフで行った



上浦庸司院長